

## 施策評価結果（対象：平成 23 年度施策）

### 1. はじめに

今回の施策評価は、第 5 次総合振興計画の後期基本計画の初年度（平成 23 年度）の評価として実施しました。

昨年度は、第 5 次総合振興計画前期計画の最終年度であったため前期計画のまとめとして評価しました。

#### 《達成度の評価視点》

昨年度の評価	今回の評価
施策目標を大きく上回る成果が得られた	最終目標(H27)に向け、計画を大きく上回る成果があがっている
施策目標通りの成果が得られた	最終目標(H27)に向け、順調に成果があがっている
施策目標は達成できなかった	このままでは、最終目標(H27)達成が難しい

### 2. 評価対象

評価対象は、第 5 次総合振興計画後期基本計画の 45 の施策です。下記に各課の評価対象の施策数を示します。

#### ■ 評価対象施策数

主務課	施策数
総務課	10
企画課	3
住民課	1
環境課	4
健康福祉課	6
高齢者支援	1
農政課	1
観光商工課	5
建設課	8
学校教育	1
生涯学習課	5
計	45

### 3. 評価結果

#### (1) 一次評価（主務課の評価）

##### ○ 達成度 ～目標の達成状況はどうか～

平成 23 年度の施策の達成度を下表に示します。

もっとも多かったのは、「B：最終目標（H27）達成に向け、順調に成果があがっている」の 38 施策（84.4%）となっています。次いで、「C：このままでは、最終目標（H27）達成が難しい」の 6 施策（13.3%）、「A：最終目標（H27）達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている」は 1 施策（2.2%）となっています。

なお、「C：このままでは、最終目標（H27）達成が難しい」と評価した施策については、今後目標達成に向けた強い取り組みが求められます。

#### ■ ”達成度”の結果

達成度	施策数 (H21)	施策数 (H22)	施策数 (H23)
A:最終目標(H27)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている	2(3.9%)	1(2.0%)	1(2.2%)
B:最終目標(H27)達成に向け、順調に成果があがっている	34(66.7%)	39(76.5%)	38(84.4%)
C:このままでは、最終目標(H27)達成が難しい	15(29.4%)	11(21.6%)	6(13.3%)
計	51(100%)	51(100%)	45(100%)

#### ■ ”達成度”このままでは、最終目標(H27)達成が難しい”と評価した施策一覧

主務課	総合振興計画コード	施策名
健康福祉課	2020	地域医療体制の充実
高齢者支援課	2050	高齢者支援の充実
住民課	2080	医療年金保険制度の充実
環境課	3100	資源循環型社会の形成
観光商工課	4020	工業の振興
観光商工課	4050	雇用・勤労者福祉の推進

○ 必要性 ～ニーズは今後どう変化するか～

今後ニーズがどのように変化するかを評価した結果を下表に示します。

「ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない」と「ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある」が 22 施策（48.9%）と同数になっています。

「ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある」は 1 施策（2.2%）のみとなっています。

■ ”必要性”の結果

必要性	施策数 (H21)	施策数 (H22)	施策数 (H23)
A: ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある	25(49.0%)	23(45.1%)	22(48.9%)
B: ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない	22(43.1%)	27(52.9%)	22(48.9%)
C: ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある	4(7.8%)	1(2.0%)	1(2.2%)
計	51(100%)	51(100%)	45(100%)

○ “達成度” × “必要性”

前述の“達成度”と“必要性”のクロス集計結果を下表に示します。

「B：最終目標（H27）達成に向け、順調に成果があがっている」と評価している 38 施策をみると、20 施策は必要性が「現状と変わらない」、17 施策が「増加する方向にある」と評価しています。一方、「減少する方向にある」は 1 施策のみとなっています。

「C：このままでは、最終目標（H27）達成が難しい」と評価した 6 施策のうち、4 施策は必要性が「増加する方向にある」と評価しています。

達成度 \ 必要性	増加する 方向に ある	現状と 変わら ない	減少する 方向に ある	計
A: 最終目標(H27)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている	1	0	0	1
B: 最終目標(H27)達成に向け、順調に成果があがっている	17	20	1	38
C: このままでは、最終目標(H27)達成が難しい	4	2	0	6
計	22	22	1	45

## (2) 二次評価（町の評価）

### ○ 達成度

これまでは、一次評価として主務課における評価結果を示しましたが、ここでは、二次評価として、各課の評価結果を踏まえ、副町長、総務部長、企画課長、主務課長において行った評価結果を示します。

「A：最終目標（H27）達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている」は1施策（2.2%）、「A：最終目標（H27）達成に向け、計画を大きく上回る成果が上がっている

B：最終目標（H27）達成に向け、順調に成果があがっている」は37施策（82.2%）、「C：このままでは、最終目標（H27）達成が難しい」は7施策（15.6%）となりました。

一次評価と若干違いがある結果となっていますが、これは一次評価は指標の達成状況に特化して評価していると見られ、二次評価では指標では表わしきれない施策の目標達成状況を総合的に評価したため、評価に相違がでたものです。

### ■”達成度”の結果

達成度	一次評価	二次評価
A:最終目標(H27)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている	1(2.2%)	1(2.2%)
B:最終目標(H27)達成に向け、順調に成果があがっている	38(84.4%)	37(82.2%)
C:このままでは、最終目標(H27)達成が難しい	6(13.3%)	7(15.6%)
計	45(100%)	45(100%)

### ○ 施策の方向性

「重点施策と位置づけ積極推進」が18施策（40.0%）、次いで「これまでどおり推進」が27施策（60.0%）、となっています。

「重点施策と位置づけ積極推進」と評価した施策は、下記のとおりですが、人口減少問題・少子高齢化対策や生活環境などに対応するための施策となっています。

### ■”施策の方向性”の結果

施策の方向性	施策数
A:重点施策と位置付け積極推進	18(40.0%)
B:これまでどおり推進	27(60.0%)
C:他の施策に経営資源を集中するために縮小・省力化	0(0.0%)
計	45(100%)

■ ”重点施策と位置づけ積極推進”と評価した施策一覧

主務課	総合振興計画コード	施策名
学校教育課	1020	学校教育の推進
健康福祉課	2010	生涯を通じた健康づくり
健康福祉課	2020	地域医療体制の充実
健康福祉課	2040	子育て支援の充実
高齢者支援課	2050	高齢者支援の充実
住民課	2080	医療年金保険制度の充実
環境課	3030	快適な生活環境の確保
建設課	3090	下水道の充実
環境課	3100	資源循環型社会の形成
総務課	3110	防災体制の充実
農政課	4010	農林業の振興
観光商工課	4020	工業の振興
観光商工課	4030	商業の振興
観光商工課	4040	観光の振興
観光商工課	4050	雇用・勤労者福祉の推進
建設課	5030	道路網の充実
企画課	5040	公共交通の充実
企画課	6040	安定した財政運営